

鼻へ噴霧するタイプのインフルエンザワクチン フルミスト[®]点鼻液を接種される方・ 保護者の方へ

〔監修〕川崎医科大学 小児科学 特任教授 中野 貴司 先生

○フルミスト点鼻液はこんなワクチンです

- 日本初となる、鼻へ噴霧するタイプのインフルエンザワクチンです。
- 鼻へ噴霧するため、針を刺す必要がありません。
- 2～18歳の方が対象です。
- フルミスト点鼻液のワクチン接種は、1回分で完了です。
(左右それぞれの鼻へワクチンを噴霧すれば、終わりです)
- フルミスト点鼻液を接種された方は、積極的に吸入（鼻ですする）する必要はありません。
- ワクチン接種後に、鼻水、鼻づまり、せき、のどの痛み、頭痛などの副反応が現れることがあります。まれに、ショックやアナフィラキシーなどの重大な副反応が現れることもあります。いつもと違う体調変化や異常を認めた場合は、速やかに医師にご連絡ください。



○いつ頃からワクチンを接種すればいいの？

- インフルエンザは、例年12月～3月頃に流行し、1月～2月にピークを迎えることが多いので、12月中旬までにインフルエンザワクチンの接種を終えておくことが望めます。



○フルミスト点鼻液 接種後の注意



- フルミスト点鼻液の接種後30分間は、ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難など）の急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- 接種当日は、入浴しても差し支えありません。
- 接種当日は、いつも通りの生活をして構いませんが、激しい運動は避けましょう。
- 接種後に熱が出る場合があります。気になる場合は、医師にご相談ください。
(フルミストを接種したことを)
(医師に伝えてください)
- フルミスト点鼻液の接種後1～2週間は、重度の免疫不全者との密接な接触は避けてください。
- 医師が認めた場合は、フルミスト点鼻液と他のワクチンも同時に接種することができます。他のワクチン接種を希望される際は、医師にご相談ください。

